

Ⅲ. 事業計画

(2024-2025年度)





2024-25年度RI会長テーマ The Magic of Rotary ロータリーのマジック

2024 - 25年度国際ロータリー会長
ステファニー・A・アーチック
マクマリー RC (米国ペンシルベニア州)

「誤解しないでください。私たちは魔法の杖を振って呪文を唱えるだけで会員を増やしたり、ポリオを根絶したり、世界に平和をもたらしたりするわけではありません。それは皆さん次第です。プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジック（魔法）を生み出すのです。」とアーチックRI会長エレクトは2024-25年度会長テーマ「ロータリーのマジック」について呼びかけました。アーチック会長は、ドミニカ共和国での浄水器設置活動をしていた時に、汚水が浄水器に入り透明な水が出てくるところを見ていた少年に「もう一度魔法を見せて」と言われました。少年は安全な水が簡単に入手できれば自分たちの人生が変わる事を知っていました。私が少しでもその力になれたことを知ったことで私の人生も変わったと述べられました。

アーチック会長はポリオ根絶のために全力を尽くすよう次期ガバナーに求めました。ポリオ根絶活動を支援する最善の方法は認識向上と資金調達です。ポリオ根絶への支援を呼び掛けてください。ポリオは今も私たちの最優先事項です。

ロータリーの行動計画からマジックが始まります。分断された世界を癒すにはそのマジックが必要です。私たちがベストを尽くすためには、私たちの組織に変更を加える必要があるかもしれません。行動計画は地区内のクラブでの体験をより良くするものです。地区内のクラブが活発に活動していない、または会員が減っている場合、地域社会にもっと合った新クラブを結成する時期に来ているのかもしれません。クラブをより良くするために何ができるか尋ねてみてください。また、まだ入会していないけれどロータリー会員になるべき地元のリーダーと話すことを検討してください。地元のクラブの現在の構造がその人たちに適していない可能性もあります。また、心からクラブへの帰属意識を持っていない会員がいるかもしれません。だからこそ、多様性、公平さ、インクルージョン、そして帰属意識へのコミットメントを広げることが重要です。行動志向の次世代の人たちをオープンな心で迎え入れることを願っています。たとえ、地元クラブの典型的な会員とは異なるタイプの人であっても。

また、アーチック会長は、平和構築が私の最優先課題の一つだとして行動喚起を呼びかけました。そのプログラムの一つの、ロータリー平和フェロシップではロータリー平和センターを卒業した1800人以上の平和フェローがより良い世界を築くため活動しています。そして2025年にイスタンブールに新たな平和センターが設置されます。これを記念して「分断された世界を癒す」をテーマにロータリー平和会議が行われます。それまでの間、会員の皆さんも平和の推進のために多くのことができます。その手段の一つとして「四つのテスト」があります。四つのテストを実践していけば世界はより良くなるでしょう。

「ロータリーのマジック」を使って世界を変えていきましょう。

(2024年国際協議会テーマ講演より、上田ガバナーエレクト抜粋)

～略歴～

McMurrayロータリークラブ（米国ペンシルベニア州）所属。2024-25年度RI会長。RI理事、ロータリー財団管理委員、研修リーダー、ロータリー財団地域コーディネーター、RI会長代理など、RIで数多くの役職を歴任。また、3回の規定審議会で代表議員と特別議員を務める。

ロータリー戦略計画委員会とロータリー財団百周年記念委員会の委員長を務めたほか、選挙審査委員会と運営審査委員会を含むさまざまなロータリー委員会の委員を歴任。

1991年にロータリーに入会して以来、インドとナイジェリアでの全国予防接種日（NID）の活動、ベトナムでの小学校建設、ドミニカ共和国での浄水器設置など、さまざまな国際奉仕プロジェクトに参加。複数のスラブ語を学び、ウクライナの新会員の指導にあたったほか、ポーランドでは乳がん検診用のX線撮影装置と生検ユニットを病院に設置するロータリー財団補助金の調整を担当。ポーランドのクラクフ・ロータリークラブは記念冊子の中で、共産主義後のポーランドにおけるロータリーの復興を手助けした重要人物としてアーチック氏を挙げている。

現在は、人道的・教育的奉仕プロジェクトのために米国内のクラブ・地区がアルバニア、コソボ、ウクライナのロータリークラブとパートナーシップを結べるよう援助している。

高等教育、コンサルティング、エンターテインメント業界における職歴を有し、ペンシルベニア州立インディアナ大学でリーダーシップ研究の博士号を取得。ロータリー財団をはじめ数多くの地元機関・国際機関から賞や表彰を受けている。



ガバナーから地区の皆様へ

国際ロータリー第2710地区
2024 - 25年度ガバナー 上田 文雄

いよいよ新年度がスタートいたします。新しい年度を迎えるに当たり、既にクラブ会長をはじめとするクラブ指導者チームの方々はPETSや地区研修・協議会に参加され、それぞれの立場で万全の準備を進めてこられたと思います。ここに改めてクラブ会員の皆様に新年度のRI会長テーマ、ガバナー信条をお伝えします。皆様の力を合わせて、より元気でより魅力的なクラブを目指して取り組んでいただきたいと思います。

○2024-25年度 ステファニー・A・アーチックRI会長テーマ

「The Magic of Rotary」(ロータリーのマジック)

○重点目標

ロータリーの行動計画に基づき

- ・平和構築のために「分断を癒す」
- ・会員増強のための「クラブ文化の見直し」
- ・ロータリーのマジックの実践により世界に変化をもたらす

○ガバナー信条

「行動しよう、未来のために。= 変革に取り組もう =」

重点目標

1. クラブ文化の見直し (DEIの推進)
2. 奉仕活動に取り組もう！

○重点実施事項

1. クラブ3か年目標の設定
クラブレベルの行動計画の作成と実施
2. クラブ文化の見直し
 - ・若い人、女性、経営者ではない人等でも居心地の良いクラブにして会員増強を
 - ・My Rotary ラーニングセンターの受講促進による自ら学ぶ文化へ
3. 奉仕活動計画の作成
 - ・多くの人の参加で奉仕活動を (環境分野への取組推進)
 - ・ロータリーのマジックの実践
 - ・地区補助金・グローバル補助金への取組推進

アーチックRI会長は、行動計画を実行し、クラブ文化を見直すことで、「たまたま魅力的な」(Simply Irresistible) なクラブにしてほしいと言われています。典型的なロータリアン (高齢、男性、経営者) に限らず、もっと幅広い人にとっても、ぜひ入りたいクラブにして、多くの会員が自分の知り合いを誘いたくなるようなクラブにしてほしいと思います。

2024 - 25年度ガバナー 略歴

- [氏名] 上田 文雄 (うえだ ふみお)
- [所属クラブ] 岩国ロータリークラブ
- [生年月日] 1953年 8月21日
- [職業分類] 鉄工業 (産業機械製造)
- [学歴] 1977年 3月 東京大学工学部工業化学科卒業
- [職歴] 1977年 4月 帝人 (株) 入社
1985年 4月 旭興産 (株) 入社
2008年 3月 旭興産 (株) 代表取締役社長就任
2020年 2月 アラインテック (株) 代表取締役社長就任
(社名変更のため)
- [主な公職] 2006年 2月～現在 日本政策金融公庫下関友の会幹事
2015年 3月～現在 岩国商工会議所常議員
2012年 4月～2022年 3月 公正取引委員会下請取引等改善協力委員
2013年 7月～2019年 6月 (独法) 山口県産業技術センター評価委員
- [ロータリー歴] 1994年 3月 3日 岩国ロータリークラブ入会
1999年 6月 30日 岩国ロータリークラブ退会
(旭興産 (株) 前社長が岩国市長を退任し岩国RCに復帰するため交代)
2007年 7月 5日 岩国ロータリークラブ再入会
2013-14年度 岩国ロータリークラブ幹事
2016-17年度 岩国ロータリークラブ会長
2021-22年度 RI第2710地区グループ 5 ガバナー補佐
- ベネファクター
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (6回)
第3回米山功労者マルチプル
2021-22年度 地区功労賞 (ガバナー補佐)



会長挨拶

2024 - 2025年度 広島東南ロータリークラブ
会長 田上 克彦

1960年2月1日、20名のチャーターメンバーで広島東南ロータリークラブが産声を上げ、本年度でクラブ創立65周年を迎えます。この記念すべき年度にクラブ会長を務めさせて頂くことを大変光栄に思うと共に責任も感じています。私は1959年4月19日生まれで、広島東南ロータリークラブとは同級生になります。入会後は、45周年、50周年、55周年、還暦の60周年とロータリークラブと共にお祝いをして参りました。そしてまた、来たる65周年は会長としてお祝い出来ることを、歴史を築き紡いで頂いた諸先輩・現役会員の皆様に衷心より感謝申し上げます。

本年度RIステファニー・アーチック会長のテーマは「ロータリーのマジック」です。会員に平和のために活動するように促し、その手段の一つに4つのテストを実践し、世界をより良くしていく事に取り組むことを呼びかけられています。少しジョークを交え、多様性、公平さ、インクルージョンを進め、行動志向の次世代の人たちをオープンな心で迎え入れる事を推奨されています。上田文雄地区ガバナーの信条は「行動しよう、未来のために」です。コロナ禍で停滞した奉仕活動を、コロナ前より発展させる契機として、奉仕活動に対する意識を高めるきっかけを作るよう要望されています。

これらを鑑み本年度のテーマを『語ろうロータリーを 語ろう全会員で』とさせていただきます。広島東南ロータリークラブの、世代職業を超えて親密で和気藹々とした家族、兄弟のようなクラブである伝統は保持しつつ、大いにロータリーについて語っていきたいと思います。特に近年入会した若い行動志向の強い次世代を担う会員に対し、理事・役員などの役職経験を持つ私たちベテランメンバーは、やらせてみる覚悟を持ち、それを放置しない責任感を発揮してほしいと思います。過去の延長線上に未来を描くのではなく、英知と勇気と情熱で未来を拓く集団であることを祈念します。

創立65周年実行委員会の皆様には山下委員長を中心に昨年から何度も会議を開催頂き、記念事業に被爆樹木の絵画コンクールを行って頂くことになりました。10年前から広島東南ロータリークラブが取り組んできた被爆樹木の保存、認知の集大成となる事業になるよう全会員で取り組み、会員皆様の心に残る記念事業になるよう祈念しております。

通年経常の目標 (2008.7~)

CLPに掲げられているRC強化の要素を参照しつつ広島東南RCのこれまでの歴史を踏まえ、以下のことを通年経常の目標を設定する。

- 常に会員数概ね100人の確保をはかり、世代職業を越えて親密で和気藹々とした家族兄弟のようなクラブである伝統を保持する。
- 合理的例会運営、高い出席率、早い情報伝達、電子記録の整理保存など広島東南RCがこれまで充実に努めてきたクラブ運営の伝統を保持発展させる。
- 具体的な企業経営や職能活動の現場での職業奉仕のあり方を研究する「経営研究会」を充実継続する。
- 地域社会の子供（子育てを含む）、高齢者、身体障害者など社会的弱者への奉仕活動を中心に通年経常の活動を継続する。
- パールハーバー RC、台中RCとの姉妹関係を緊密に維持し、姉妹関係のもとでの共同奉仕プロジェクトを適宜実施する。
- ロータリー財団、米山記念奨学会への支援は地区内での高い水準を維持するとともに、米山奨学生の世話クラブとして大きく貢献してきた伝統を継承し、積極的に奨学生の世話を引き受け、同時に米山奨学会を支援する。
- 支店長会員を主賓として多様な目的を持って開催している『松茸を腹一杯食べる会』、『ふぐを腹一杯食べる会』等を継続する。『郷土史文化研究会』、『RI エコー』等のユニークな内容を含む同好会の活動を支援する。

2024 — 25年度 ロータリー賞の目標

2020-21年度より、ロータリークラブのリーダーは、ロータリー賞の達成を目指すにあたり、ロータリークラブ・セントラルから25の目標のうち少なくとも13の目標（または全目標の51%以上）を選ぶことができるようになります。このような柔軟性が適用されたことにより、クラブにとって最も重要で達成可能と思われる目標を選ぶことが可能となります。さらに、目標の多くはロータリークラブ・セントラル内で「達成」に印をつける自己報告方式となります。

当クラブは下記の16の目標を選択しました。目標達成の為、ご協力の程よろしくお願いいたします。

目標	目標の詳細
会員増強	ロータリー年度末までに達成したいクラブ会員総数
奉仕活動への参加	本ロータリー年度にクラブの奉仕活動に参加する会員の数
新会員の推薦	本ロータリー年度に新会員を推薦する現会員の数
地区大会への出席	地区大会に出席する会員の数
地区研修への参加	地区で行われる研修／セミナー／協議会などに出席するクラブ委員会委員長の数
年次基金への寄付	本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団年次基金への寄付総額
ポリオプラス基金への寄付	本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団ポリオプラス基金への寄付総額
ベネファクター	遺言またはそのほかの遺産計画に財団恒久基金を指定して寄付することをロータリー財団に通知または恒久基金に1,000ドル以上を寄付して、新たにベネファクターとなる個人・夫婦の数
奉仕プロジェクト	本ロータリー年度にクラブが実施する奉仕プロジェクトの数
インターアクトクラブ	本ロータリー年度にクラブが提唱する新インターアクトクラブと既存インターアクトクラブの数
RYLA参加者	本ロータリー年度にクラブが支援するRYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）参加者の数
クラブ戦略計画	クラブにはクラブ独自の戦略計画（長期計画）があるか
インターネット上の存在感	クラブの推進用資料、ウェブサイト、ソーシャルメディアでは、最新のロータリーのロゴが正しく使われ、「世界を変える行動人」としての会員のイメージを伝えているか
親睦のための活動	本ロータリー年度、例会以外に親睦を目的としてクラブが実施した活動の回数
ウェブサイトとソーシャルメディアの更新	本ロータリー年度中、最新の活動や一般の関心を引くような情報を反映させるために、クラブのウェブサイトとソーシャルメディアアカウントを月に何回更新するか
クラブのプロジェクトのメディア掲載	本ロータリー年度にクラブのプロジェクトを取り上げるメディア記事の数

2024 — 2025年度広島東南ロータリークラブ所属委員会

【理事・役員】

会 長 (理事)	田上 克彦	奉仕プロジェクト (理事)	高西 哲郎
直 前 会 長 (理事)	柄 博治	財団関連活動 (理事)	渡邊 直樹
副 会 長・会長エレクト (理事)	久保 和浩	会 計 (理事)	中村 伸弘
幹 事 (理事)	鹿瀬 賢二	S. A. A. (理事)	上田 康博
会 員 増 強 (理事)	菅 富誉樹	副 幹 事	高橋 心里
クラブ管理運営 (理事)	尾立 道泰	副 幹 事	國司 晃
広報・記録 (理事)	吉田 範子		

【所属委員会】

(*印は兼務)

委員会	委員長リーダー	副リーダー	委 員		
◎会員増強委員会	菅 富誉樹				
会員増強・職業分類担当	島尾健太郎	大井 克元*	伊藤 正樹 平川 勝洋	温泉川梅代	要田 昭治
ロータリー情報担当	森原 弘昌	谷井 智	山仲 巖		
◎クラブ管理運営委員会	尾立 道泰				
出席担当	沖宗 正明	濱本 聖次	吉田 信秀	行武 治子	横山 敏郎*
プログラム担当	大下 達士	衣笠 准一	林 大一郎*	林 潤子*	
親睦担当	林 亮介	平岡 誠治	米川 晃 君島 龍輝 佐柳 和憲* 戸邊 宏二* 安永 竜弥* 瀧川 洋一	久保河内豊 荒木 浩幸 森脇 邦友* 横山 敏郎* 西谷 伸治* 菅野 博文	富部 秀司 田中 貴* 越智 直紀* 柴田 公房* 鈴木 浩史 大本 一城
◎広報・記録委員会	吉田 範子				
クラブ会報・資料保存担当	佐々木一暢	江後 潤一	神辺 眞之	品川 晃二	旦 康次郎
雑誌担当	赤川 浩二	高垣 創	河野 洋平	田中 貴*	林 潤子*
広報担当	田尾 直也	宮内 章裕	越智 直紀*		
◎奉仕プロジェクト委員会	高西 哲郎				
職業奉仕・経営研究担当	角田由貴子	井原 倫子	萩田 玲子 中畝 将博*	武士末 修*	天野 國幹
社会奉仕担当	佐々木 聡	田中 康平	岡本 幸士* 柴田 公房*	武士末 修*	戸邊 宏二*
青少年奉仕担当	見正 伸也	田野原 浩	土肥 雪彦 安永 竜弥*	佐柳 和憲* 西谷 伸治*	森脇 邦友*
国際奉仕・姉妹クラブ担当	守下 康弘	梅本 良徳	長崎 清正 中畝 将博*	山下 泉 林 大一郎*	大井 克元* 三宅 正光*
◎財団関連活動委員会	渡邊 直樹				
ロータリー財団担当	三宅 正光*	塩崎 滋弘	大濱 紘三	佐野 庸子	
米山記念奨学会担当	中脇 令子	平町 隆典	河野 宏明		

◎S.A.A.支援担当	若宮奈美江	板本 敏行	脇舛 賢治	岡本 幸士*	古本 由美
◎監 査	神田 敏治 岩井 正喬				
◎クラブ戦略委員会 (2018年度以降 歴代会長・幹事)	吉田 信秀 柄 博治	衣笠 准一 大井 克元	米川 晃 森原 弘昌	要田 昭治 谷井 智	佐野 庸子 山仲 巖
◎創立65周年実行委員会 (長)山下 泉 (副)中村 伸弘 (統)久保 和浩	神田 敏治 吉田 信秀				
◎被爆樹木特別委員会	要田 昭治 菅 富誉樹 田上 克彦 守下 康弘				
◎合同事務局運営委員	鹿瀬 賢二 高橋 心里 國司 晃				

2024 - 2025年度 広島東南ロータリークラブ
各部門・委員会の事業計画



会員増強委員会

委員長 菅 富誉樹

田上会長の「語ろうロータリーを 語ろう全会員で」との方針のもとで、今まで以上に活発なコミュニケーションを図り、会員全員のご協力を頂いて新会員の獲得と退会の防止を図りたいと考えております。65周年を迎える今年度は、他の委員会とも協力して、全会員で語らう機会を多く設けてロータリークラブについての理解を深めて行ければと思います。100名に向けての会員増強、女性会員のさらなる獲得を引き続き取り組んで参りますので、皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。



● 会員増強・職業分類担当



リーダー
鳶尾健太郎



副リーダー
大井 克元

【リーダー】	鳶尾健太郎	
【副リーダー】	大井 克元	
【委員】	伊藤 正樹	温泉川梅代
	要田 昭治	平川 勝洋

〈方針〉

今年度末時点で、クラブ会員総数100名維持（達成）を目標とする。

〈計画〉

- ・ 会員増強の具体的な目標として純増2名を目指す。
- ・ 4か月に1度程度、退会者数や入会者数を確認する。目標達成の進捗状況を把握し、クラブ全体で共有する。
- ・ 会員増強の手段として、各メンバーの皆様に今一度、これまで培った人脈を十分に発揮して頂く。入会してほしいと思う有為な人物がいないかの喚起を継続して行う。
- ・ 入会可能性のある人物についてメンバーから情報提供を受けるような体制を作る。提供を受けた際には、適宜、メンバーと協力し、入会に向けて後押しを行う。
- ・ 会員増強・退会防止に向けて、特に新会員について、早くクラブになじむことができるような優しい声かけや配慮を行う。そういった配慮をクラブ全体で共有するよう、継続的に喚起していく。
- ・ オープン例会を開催する。入会可能性のある方々を積極的に招待し、当クラブの雰囲気を感じてもらいつつ、入会に結びつける。

〈予算〉 200,000円

● ロータリー情報担当



リーダー
森原 弘昌



副リーダー
谷井 智

【リーダー】	森原 弘昌
【副リーダー】	谷井 智
【委員】	山仲 巖

〈方針〉

1. 新会員にロータリークラブの特典と責務に関する情報を提供する。
2. 会長方針の「語ろうロータリーを 語ろう全会員で」を受け会員にロータリーの事を深く知って頂くよう、またロータリー情報として活発に事業を行う。具体的には退会防止及び新規入会促進の為、会員増強・職業分類担当、親睦担当とも連携し、(特に入会3年未満の会員)に対し少規模でのファイヤーサイドミーティングを実施し、ロータリークラブの歴史・目的・活動と当クラブに関する種々の情報と親睦を提供する場を設ける。これにより会員のクラブへの親和性を高め会員増強・職業分類担当の退会防止と新入会員勧誘の取り組みをロータリー情報担当としてサポートしていく。

〈計画〉

1. 新会員の入会説明を例会前11時30分より行う。
2. 会員増強・職業分類担当と共同で、会長経験者や入会歴の長い会員の方から当クラブに関するお話を聞く会を年度内に複数回開催する。
会員の皆様(特に入会3年未満の会員)に対し当クラブの歴史や過去の逸話等を紹介して頂き会員のクラブへの親和性及び会員増強の機運を高める機会を提供する。これらによって退会防止と会員増強につながるロータリー情報担当の事業とする。
開催及び会場は、親睦担当と連携して懇親会も同時に開催し会員間の親睦を深める場とする。
3. 週報などでロータリーに関する情報を提供する。
4. 入会3年未満の会員(特に支社長・支店長等広島に着任された会員)については、各種会合に積極的に参加出来るよう情報提供する。

〈予算〉 450,000円

クラブ管理運営委員会



委員長 尾立 道泰

昨年度はロータリー活動が、コロナ前に戻り活気を帯びてきたと感じております。

来年2月1日は、広島東南ロータリークラブ創立65年を迎え、記念式典をはじめ、様々な事業を予定しています。

クラブ管理運営委員会は、沖宗出席担当リーダー、大下プログラム担当リーダー、林親睦担当リーダーの3名とともに、ロータリーを語り、ロータリーを楽しみ、ロータリーで学んでいけるよう様々な事業を計画しています。

皆様の積極的なご参加をよろしくお願いいたします。



● 出席担当



リーダー
沖宗 正明



副リーダー
濱本 聖次

【リーダー】	沖宗 正明	
【副リーダー】	濱本 聖次	
【委員】	吉田 信秀	行武 治子
	横山 敏郎	

〈方針〉

今年度は広島東南ロータリークラブ創立65周年を迎えます。今年度の田上会長の方針「語ろうロータリーを 語ろう全会員で」を念頭に、当ロータリークラブの全会員が和気藹々として大いに語れるよう、積極的に会合に参加できることを目指します。

〈計画〉

1. 他の委員会と連携し、出席しやすい環境を作る。
2. 例会時に出席報告を行い、例会出席への関心が高まることを図る。
3. クラブ会報に出席状況を掲載する。
4. 連続出席者を報告し、記念品の贈呈を行い、その労を称える。
5. 今年度は創立65周年であることから、多くの行事が予定される。積極的に参加を求めて行く。
6. 例会に出席できないときは他クラブでのメイクアップを奨励する。

〈予算〉 450,000円

● プログラム担当



リーダー
大下 達士



副リーダー
衣笠 准一

【リーダー】	大下 達士		
【副リーダー】	衣笠 准一		
【委員】	林 大一郎	林 潤子	

〈方針〉

英知と勇気と情熱を持って未来を抱ける例会を企画する。
会長方針に沿ったプログラムを計画する。

〈計画〉

ロータリー月間のテーマに因んだプログラムを実施する。
新入会員に自己紹介等の卓話を依頼する。
社会貢献活動、会員相互の研鑽に役立つ活動及び特徴ある活動の卓話を実施する。

〈予算〉 400,000円

● 親睦担当



リーダー
林 亮介



副リーダー
平岡 誠治

【リーダー】	林 亮介	
【副リーダー】	平岡 誠治	
【委員】	米川 晃	久保河内豊
	富部 秀司	君島 龍輝
	田中 貴	荒木 浩幸
	佐柳 和憲	森脇 邦友
	越智 直紀	戸邊 宏二
	横山 敏郎	柴田 公房
	安永 竜弥	西谷 伸治
	鈴川 浩史	瀧川 洋一
	菅野 博文	大本 一城

〈方針〉

- ・ 東南RCならではの伝統行事の良さを継承しつつ、過去の延長線上ではない、未来を拓く試みに挑戦する。
- ・ 会員及び親睦メンバーがワクワクする企画設営を心掛ける。

〈計画〉

1. 例会受付
出席カード捺印
ビジター歓迎、紹介
2. 親睦行事
花火大会観覧 (家族会：2024年7月27日 銀河)
地産地消を楽しむ会 (家族会：2024年9月頃)
3 RC合同例会 (夜間例会：2024年10月21日 リーガ)
※ホスト：広島中央RC
第36回支店長会員を囲む会 (松茸の会：2024年10月頃)
サッカー観戦 (家族会：2024年11月3日)
クリスマス例会 (夜間例会：2024年12月23日 ANA)
創立65周年記念式典 (懇親会：2025年2月1日 ANA)
第37回支店長会員を囲む会 (河豚の会：2025年2月頃)
新会員歓迎例会 (夜間例会：2025年3月24日 ANA)
野球観戦 (家族会：2025年5月頃)
最終例会 (夜間例会：2025年6月30日 ANA)
3. 記念品贈呈
4. 各委員会への参加
5. 同好会活動への協力
6. クラブ内慶弔への支援
7. 委員会間コラボ企画 (ロータリー情報×会員増強×親睦)
(親睦会：2025年11月頃)

〈予算〉 6,500,000円

広報・記録委員会



委員長 吉田 範子

田上会長の方針「語ろうロータリーを 語ろう全会員で」をもとに広報委員会の皆様の柔軟で新しい発想によって、当クラブの活動を適切に内外に積極的に広報してまいります。

また、65周年事業の各報道機関への広報など外部へのロータリー活動の啓発に努めて参ります。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



● クラブ会報・資料保存担当



リーダー
佐々木一暢



副リーダー
江後 潤一

【リーダー】	佐々木一暢	
【副リーダー】	江後 潤一	
【委員】	神辺 眞之	品川 晃二
	旦 康二郎	河野 洋平
	田中 貴	林 潤子
	越智 直紀	

〈方針〉

1. クラブ会報（週報）を作成し、当クラブの事業や諸活動を周知し、会員の関心を高めることにより、会員相互の親睦を深め、クラブの活性化を図り、ひいてはロータリー活動に寄与する。
2. クラブ会報及び関連資料データ等を適切に保存・管理することで、当クラブの行っている事業や諸活動の内容を着実に記録し後世に残す。

〈計画〉

1. クラブ会報は毎例会にて披露し、併せて例会前後の行事・予定等を同会報にてお知らせする。
2. クラブ会報は、当クラブの行っている事業や会員の実施している諸活動を幅広く紹介し、読み応えと当クラブへの愛着を増やす紙面を目指す。
3. 田上克彦会長の掲げる当クラブのテーマ「語ろうロータリーを 語ろう全会員で」をクラブ会報に反映させる。週報に「つぶやきコーナー」を新たに設置。毎週会員一名の方から20文字程度で『つぶやき』を投稿して頂き、例会時に2分程度の時間を設け、その『つぶやき』に対し例会出席会員と会話をすることにより、会員同士の交流を図る。
4. 各例会のメインプログラムの内容はクラブ会報にて記事にする。特に会員による卓話は本人から原稿を入手し、内容に齟齬が無いようにする。
5. クラブ会報は当クラブのホームページに掲載し、会員からの閲覧を奨励する。
6. 例会や各種行事にて、極力写真等を撮影し、記録・記念として保存する。

〈予算〉 594,000円

● 雑誌担当



リーダー
赤川 浩二



副リーダー
高垣 創

【リーダー】	赤川 浩二	
【副リーダー】	高垣 創	
【委員】	神辺 眞之	品川 晃二
	旦 康次郎	河野 洋平
	田中 貴	林 潤子
	越智 直紀	

〈方針〉

「ロータリーの友」を会員に購読していただき、国内・国外のロータリー活動を知っていただく。また活動報告・随筆等に触れながら会員全員でロータリー活動の意義を考える機会を作る。

広島東南ロータリークラブの活動状況を「ロータリーの友」を通じて情報発信をする。

〈計画〉

1. 2024年7月号～2025年6月号まで毎月発行される「ロータリーの友」を毎月配布する。
2. 「ロータリーの友」内で企画されている、クイズ、川柳、ピックアップ情報等の企画に参加して頂き、ロータリー活動への関心、理解を深めて頂く機会の醸成を図る。
3. 「ロータリーの友」を各種団体等へ寄贈し、ロータリークラブへの関心と理解を深めていただく。
4. 広島東南ロータリークラブの活動内容を「ロータリーの友」へ掲載して頂けるよう目指します。

〈予算〉 100,000円

● 広報担当



リーダー
田尾 直也



副リーダー
宮内 章裕

【リーダー】	田尾 直也		
【副リーダー】	宮内 章裕		
【委員】	神辺 眞之	品川 晃二	
	旦 康次郎	河野 洋平	
	田中 貴	林 潤子	
	越智 直紀		

〈方針〉

「語ろうロータリーを 語ろう全会員で」をテーマにロータリー活動がクラブ内外へ正しく素早く伝わるように創意工夫しながら広報活動に努める。

〈計画〉

■ 東南ロータリークラブのホームページの活用活性化

・ 奉仕活動、各行事・委員会活動をホームページへ投稿

地区補助金事業/パールハーバー RC合同記念植樹付近の清掃活動など取材と広報活動。

■ 65周年被爆樹木絵画コンクールの広報活動・取材など

■ 東南ロータリークラブのSNSの復活/情報発信

■ 県・市の記者クラブや地元経済誌へのプレスリリースなど

〈予算〉 450,000円

奉仕プロジェクト委員会



委員長 高西 哲郎

田上会長の方針である「語ろうロータリーを 語ろう全会員で」。

この方針に基きインフォーマルミーティングもリーダーを中心に個別単位で多数のメンバー出席により行われました。意見交換も積極的に行われしっかりと今年度事業計画に反映されていると思います。

せっかく全員参加で作成した事業計画ですから形骸化させることなく委員会メンバー全員で推進し、実行と検証による途中経過での計画修正も積極的に行われることを期待します。

奉仕プロジェクトの各事業活動をより良きものにするためには、委員会メンバーだけでなく、クラブメンバー全員に参加して貰うことが重要となります。

皆様には奉仕プロジェクト委員会活動へのご理解とご協力を切にお願いし、楽しい奉仕プロジェクトにしていきたいと思います。



● 職業奉仕・経営研究担当



リーダー
角田由貴子



副リーダー
井原 倫子

【リーダー】	角田由貴子	
【副リーダー】	井原 倫子	
【委員】	荻田 玲子	武士末 修
	天野 國幹	中畝 將博

〈方 針〉

本年度のテーマ「語ろうロータリーを 語ろう全会員で」を推進するために、ロータリアンの原点である職業奉仕の理念、経営研究の再認識を図り、皆で語り皆で知恵を出し合い、共に進める。

〈計 画〉

1. 会員の職業責務遂行の水準向上

職業奉仕の理念を踏まえ、多様な職業分野における職業奉仕の状況を学び、職場や地域活動など優れた社会貢献の取り組みを実施する。

①会員企業または他企業を対象に職場訪問例会を実施。

(職場訪問予定先：広島テレビ放送新社屋)

②会員企業、または地域社会に貢献された優良従業員表彰を実施。

2. 経営研究会の充実を図り、会員企業の経営に役立つ情報提供を実施する。

- ①多様な職業分野の経営幹部を招聘し講演会を開催。
- ②経営に関する事例や経営哲学、経験談についての講演会を開催。
(講演会予定：SDGs積水ハウス(株)江後潤一会員)

「未来の家(仮)」

〈予算〉 500,000円



● 社会奉仕担当



リーダー
佐々木 聡



副リーダー
田中 康平

【リーダー】	佐々木 聡		
【副リーダー】	田中 康平		
【委員】	岡本 幸士	武士末 修	
	戸邊 宏二	柴田 公房	

〈方針〉

田上会長の方針「語ろうロータリーを 語ろう全会員で」のスローガンに基づき、社会奉仕活動の計画をしていきます。

〈計画〉

1. 吉島病院への寄贈事業(地区補助金事業)

プロジェクト名：国家公務員共済組合連合会吉島病院ヘリクライニング車椅子1台と車いす体重計1台を寄贈する

吉島病院では、令和6年度着工予定の建替え計画があるため、予算申請は収益性が高い機器ほど優先的に承認されるが、当申請機器は収益性を生むものでないことから優先順位が下位に設定されるので今後の購入予定の目途も立っていない為、支援することとした。(地区補助金27万円、クラブ資金14万9,210円)

吉島病院での清掃活動・贈呈式を計画しています。

2. 柏の実苑のクリスマス会参加の継続

3. 社会奉仕活動団体などへの支援

- ・広島いのちの電話
- ・CROSS TEAMの支援

(寄付型ラッピング自動販売機設置など)

4. 早朝清掃の継続(パールハーバー記念樹付近)

〈予算〉 500,000円

● 青少年奉仕担当



リーダー
見正 伸也



副リーダー
田野原 浩

【リーダー】	見正 伸也	
【副リーダー】	田野原 浩	
【委員】	土肥 雪彦	佐柳 和憲
	森脇 邦友	安永 竜弥
	西谷 伸治	

〈方針〉

2024-2025年度、RI会長テーマ「ロータリーのマジック」、当クラブ会長方針「語ろうロータリーを語ろう会員全員で」に基づき、インターアクトクラブをはじめとした青少年の活動支援や様々な奉仕活動を、当委員が一体となって活動して参ります。

〈計画〉

1. 広島商業高等学校インターアクトクラブの活動支援の実施
 - (1)青少年育成活動として、高校の協力を得ながら生徒主体の社会奉仕活動の支援を行う。
 - (2)毎月のインターアクトクラブ例会に出席し、有意義なクラブ活動の助言を行い、部員増強の策も話し合う。
 - (3)インターアクトクラブ地区大会、研修会に参加し、研鑽を重ねると共に、他校との情報交換に努める。
 - (4)ボランティア活動についての社会的意義と方法論について生徒達と共に考える。
 - (5)広島・長崎爆心地中間点にある福岡県築上郡上毛町の「被爆樹木」の清掃活動を通し、平和運動の支援を行う。
2. 他のインターアクトクラブとの活動支援の検討
3. RYLAへの参加を通じた青少年教育に関する事業支援
4. 子育て世代と子どもとの共育活動を実施

〈その他〉

現状の問題として部員の減少で広商IACの存続自体が危うい状況です。部員の増強に関して当クラブとして出来ることも顧問の先生とも探って参ります。

〈予算〉 600,000円

● 国際奉仕・姉妹クラブ担当



リーダー
守下 康弘



副リーダー
梅本 良徳

【リーダー】	守下 康弘	
【副リーダー】	梅本 良徳	
【委員】	長崎 清正	山下 泉
	大井 克元	中畝 将博
	林 大一郎	三宅 正光

〈方針〉

田上会長の方針『語ろうロータリーを語ろう全会員で』に基づき国際奉仕・姉妹クラブ担当では、創立65周年記念事業の日に合わせてパールハーバーRC、台中RC、仙台南RC等来広して頂き交流事業を深めたいと思います。

〈計画〉

2025年2月1日の創立65周年記念事業に向けて姉妹クラブ・友好クラブに来広して頂く。また、パールハーバーRCへは2024年秋に表敬訪問する計画の立案。台中RCへは2025年5月に創立70周年のお祝いに表敬訪問する計画の立案をします。

【過去の交流履歴】

- 2015年5月 台中RC創立60周年表敬訪問
- 2016年4月 PHRC来広
- 2016年9月 PHRC表敬訪問
- 2018年4月 PHRC来広
- 2019年2月 PHRC表敬訪問
- 2020年1月 東南RC創立60周年PHRC・台中RC来広
- 2020年5月 台中RC創立65周年表敬訪問中止
- 2021年 コロナ禍により交流中止
- 2022年4月 仙台地区大会表敬訪問 植樹式出席
- 2023年2月 PHRC表敬訪問
- 2023年5月 台中RC表敬訪問
- 2023年10月 仙台南RC表敬訪問 植樹式出席

〈予算〉 3,200,000円（台中RC70周年祝金含む）

財団関連活動委員会



委員長 渡邊 直樹

財団関連活動委員会は、ロータリー財団及び米山記念奨学会につき、寄付の目標を達成するよう努め、また、地区補助金を活用した事業実施の支援や奨学生及びカウンセラーの支援を行います。

会員の皆様におかれましては、これらの活動の趣旨をご理解いただいた上、積極的にご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします



● ロータリー財団担当



リーダー
三宅 正光



副リーダー
塩崎 滋弘

【リーダー】	三宅 正光
【副リーダー】	塩崎 滋弘
【委員】	大濱 紘三 佐野 庸子

〈方針〉

ロータリー財団の役割、活動実績、仕組み等を会員に理解していただき年次基金、恒久基金のご協力をお願いする。

地区補助金を活用した事業計画を実施する。

〈計画〉

ロータリー財団への寄付推進

①ポリオ・プラスへの支援35ドル/人

100万ドルの食事を年8回程度実施する。

②年次基金150ドル/人

ポールハリスフェロー、マルチプルポールハリスフェローへの寄付を勧誘し、年次基金の目標を達成する。(7名以上)

③恒久基金

ベネファクター1名/クラブ又は1000ドル以上/クラブを達成する。

④ロータリーカードの普及に努める。

ロータリー財団月間に卓話を実施し会員の皆様に情報提供する。

地区補助金の活用

国家公務員共済組合連合会 吉島病院へ車椅子1台と体重計1台を寄贈する。
グローバル補助金について調査し、活用の可能性を検討する。

〈予 算〉 100,000円



● 米山記念奨学会担当



リーダー
中脇 令子



副リーダー
平町 隆典

【リーダー】	中脇 令子
【副リーダー】	平町 隆典
【委員】	河野 宏明

〈方 針〉

会長方針「語ろうロータリーを 語ろう全会員で」の基、広島東南ロータリークラブで受け継がれてきた「米山記念奨学会事業」を継承していく。

本事業を通して、本クラブ会員と共に留学生との親睦を深め、日本と留学生の本国との文化・環境などを相互理解することに努め、平和に寄与することを方針とする。

本クラブ会員の皆様に、本事業活動への支援及び本奨学会への寄付をお願いする。

〈計 画〉

1. 米山記念奨学会事業への理解を促進する。
2. 米山記念奨学会への寄付をお願いする。
 - ・特別寄付金のお願いをする。
 - ・寄付目標：1人16,000円以上
3. 奨学生の受入支援をする。
4. 奨学生、学友との交流を図る。

〈予 算〉 10,000円

S.A.A.



委員長 上田 康博

例会がスムーズに進行するように会場監督に努力し、最善の例会管理を行っていく所存です。和気あいあいとした雰囲気の中にあっても秩序ある例会運営をしていきたいと思っておりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



● S.A.A.支援担当



リーダー
若宮奈美江



副リーダー
板本 敏行

【リーダー】	若宮奈美江	
【副リーダー】	板本 敏行	
【委員】	脇舩 賢治	岡本 幸士
	古本 由美	

〈方針〉

会長方針「語ろうロータリーを 語ろう全会員で」に沿い、これまで以上に会員同士の親交促進や合理的な例会運営ができるよう例会管理を行ってまいります。

コロナ前の親密で和気藹々とした例会を遂行していきます。

〈計画〉

方針を念頭に、本クラブの細則（クラブ細則第3条第7節）に決められたS.A.A.の任務を行います。

- ・ 例会の進行に協力し、卓話の時間施行を確保する。
- ・ 例会場への入場や退場の許可。例会場の開門、閉門。
- ・ 早退、遅刻の承認や拒否。
- ・ 例会場内でのマナーに対する指摘と秩序管理。
- ・ 例会場の設営、テーブル配置、座席の指定など。
- ・ 食事の献立、業者の選定等食事の手配。
- ・ ニコニコ箱の管理と募金状況の報告。

〈予算〉 10,000円

会 計

委員長 中村 伸弘



〈方 針〉

各部門の活動が円滑、健全に運営されるように予算編成並びに執行を行う。

〈計 画〉

1. クラブの資金活動を正確に実行する。
2. クラブの収支および財政状況を、年2回、中間決算、見込み決算の報告書を作成する。
3. 年度内に予定外の活動が必要な場合は、弾力的に財政支出を行う。

被爆樹木特別委員会

委員長 要田 昭治



〈方針〉

田上会長方針は「語ろうロータリーを 語ろう全会員で」です。

被爆樹木特別委員会の2024年～2025年度の事業計画は創立65周年記念事業の計画の成功に向けて、田上会長を中心に会員全員で東南RCの歴史を紐解き先人たちが残した痕跡を語りあかしたい。そんな中に被爆樹木特別委員会は1mmでしたが今、少しずつ広島東南RCを中心に上毛町、豊前、長崎、仙台、と被爆樹木の苗木は確実に育っています。65周年は各クラブとともに語りましょう「ロータリーを」、
「奉仕と友情を」。

〈計画〉

9月21日は国連が定めた国際平和デーです。豊前RCと長崎南RCと日程等をよく摺り合わせて、集まり「語ろうロータリーを 語ろう全会員」。

創立65周年記念事業の被爆樹木写生大会に全員参加する。

〈予算〉 300,000円